

2026 年度 武蔵大学 人文学部 ヨーロッパ文化学科

総合型選抜入学試験【語学力重視方式】【学科適性重視方式】

特別入試（外国高等学校卒業生及び帰国生徒対象入学・社会人入学・編入学）

出題意図

武蔵大学人文学部ヨーロッパ文化学科ではヨーロッパ世界の文化に強い関心を持ち、将来、社会人として日本とヨーロッパの交流の担い手になる意志のある人を求めています。本学科での学びにおいて重要なのは、ヨーロッパ文化について書かれた文献や資料を読み解き、それらに基づいた精緻な思考を展開し、自ら文章にまとめる力であり、小論文問題ではこうした力を測ることを主眼としています。また入学後はドイツ語またはフランス語を中心とした外国語の習得が必要となりますので、基本的な語学力（英語、ドイツ語、フランス語のいずれか）を確認するための語学力判定問題も出題しています。

今回の出題文は、出版という営みがルネサンス期の知的活動に及ぼした影響について論じたものです。ヨーロッパの歴史、文化に関する基本的な知識があれば読解の助けになるのは言うまでもありませんが、まずは筆者の主張を的確に読み取り、そこから設問に沿って自分の主張を展開する力が問われます。そのうえで、ルネサンスと現代という、いずれもそれ以前の時代よりも格段に多くの情報にさらされるようになった二つの時代を比較しながら考えをめぐらせ、情報との関わり方について論述してもらうことを意図しています。